

2024年 内燃機専門部会 国交省へ要請

課題、問題点、将来展望など意見交換 船用エンジン、海運・造船業界など



国土交通省 海事局船舶産業課 吉田課長（左）へ政策提言書を手渡す
福田代表（右3番目）、山里主査（右2番目）、大島衆議院議員（右）

業種別 内燃機専門部会は7月29日に東京・参議院議員会館で、船用エンジン、海運・造船業界の抱える課題や問題点、将来的な展望などについて、国土交通省へ質問・要請を行った。

主な内容は、脱炭素社会の実現に向け、ガス燃料供給インフラの整備拡充、アンモニア燃料船の普及・拡大に向けた補助金・助成金を含めた次世代燃料に関する国からの支援の要請。

また、内航海運における船員の不足や高齢化の現状や内燃機業界における人材確

保に関する課題を報告し、国としてどのような方向性を示し、牽引していくのか等の質問や意見を提出した。

国土交通省は、次世代燃料については、具体的なニーズを参考に経済産業省と連携し、対応について検討する。さらに「ゼロエミッション船等の建造促進事業」を通じ、ゼロエミッション船等の建造需要を取り込むことにより、我が国船舶産業の国際競争力強化を図る。また、人材不足については、国内人材の確保や生産性の向上に取り組んでもなお不足する人員を確保するために、外国人材の活用も重要との見解を示した。

要請に出席したのは、大島 敦衆議院議員（JAMものづくり国会議員懇談会顧問）、内燃機専門部会の労使（使側7人、労側11人）、国土交通省海事局船舶産業課 吉田課長ら5人。

